

再 評 価 項 目 調 書

再評価実施要件		○ 事業採択後 () 年 ● 再評価後 (5 年) ○ その他 ()			
1 事 業 概 要	事業名	厚東川 周防高潮対策事業			
	事業場所	宇部市藤曲 地内、 妻崎開作 地内			
	事業主体	山口県			
	事業期間	《 前回評価 平成 28 年 時 》 平成 24 年度 ~ 令和 23 年度 《 令和 23 年度 》 (西暦 2012 年度 ~ 西暦 2041 年度 《 西暦 2041 年度 》)			
	総事業費 (内用地補償費)	《 2,770 百万円 》 2,770 百万円 (0 百万円)	既投資額 (内用地補償費)	853 百万円 (0 百万円)	進捗率 (用地補償費) (31 % - %)
	事業目的	厚東川は、美祢市の桂木山を源とし、中流にある小野湖で支川大田川を合わせて周防灘に注ぐ流域面積412.8km ² 、流路延長59.9kmの二級河川である。 河口部は、瀬戸内海沿岸地域における重要な工業拠点として発展し、宇部市における社会・経済の基盤を成しており、JR宇部線や小野田線、国道190号等の主要な交通網も整備されている。 本事業区間は、高潮に対する安全度が低く、平成11年9月の台風18号により高潮被害が発生していることから、高潮対策を実施し、高潮被害の軽減を図る。			
	事業内容	L=1,400m (防潮堤工、橋梁工) 計画堤防高 T.P.+5.80~5.40m 計画高潮位 H.H.W.L = T.P.+3.85m			
事業効果	平成11年台風18号級の台風が最も大きな被害を発生させる経路を通過した際の浸水被害想定 浸水面積 255 ha → 0 ha 被害額 173,997 百万円 → 0 百万円 平成11年台風18号が来襲した際の浸水被害実績 浸水戸数 36 戸 → 0 戸 浸水面積 11.2 ha → 0 ha				
2 再 評 価 の 視 点	(1) 社会経済情勢の変化	<p>前回評価から人口及び世帯数は減少傾向であるものの、主要な交通網、公共施設や家屋等が立地し、河口付近には工場群が立地しており、高潮対策の必要性は依然として高い。</p> <p>【状況変化(国勢調査)】 《藤曲地区ほか》 ○人口 : 0.91倍 (10,850/11,924人) <H27/H22> ○世帯数 : 0.93倍 (5,340/ 5,724世帯) <H27/H22></p> <p>《参考:県全体》 ○人口 : 0.97倍 (1,405/1,451千人) <H27/H22> ○世帯数 : 1.00倍 (597/ 596千世帯) <H27/H22></p>		中項目 評価	大項目 評価
	関係市町及び地元の意向	<p>当該事業は、自治会、水利権者等の地元関係者や学識経験者等により構成する川づくり検討委員会です承されている。また、これまでの浸水被害の経験から、地元自治体である宇部市や地元住民からの被害軽減に対する要望は強い。</p>		中項目 評価	大項目 評価

2 再評価の視点	(2) 事業の投資効果	費用対効果 分析等	(単位：百万円)	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th>前回 (基準年：H28)</th> <th colspan="2">今回(再々評価) (基準年：R3)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業</th> <th>全体事業</th> <th>残事業</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4" style="text-align: center;">便益 (B)</td> <td>①一般資産被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">17,429</td> <td style="text-align: right;">31,856</td> <td style="text-align: right;">31,856</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②農作物被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">3</td> <td style="text-align: right;">3</td> <td style="text-align: right;">3</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③公共土木施設等被害軽減便益</td> <td style="text-align: right;">32,157</td> <td style="text-align: right;">58,296</td> <td style="text-align: right;">58,296</td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td style="text-align: right;">12</td> <td style="text-align: right;">13</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">総便益</td> <td style="text-align: right;">49,601</td> <td style="text-align: right;">90,167</td> <td style="text-align: right;">90,168</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td style="text-align: right;">1,976</td> <td style="text-align: right;">2,234</td> <td style="text-align: right;">1,184</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td style="text-align: right;">228</td> <td style="text-align: right;">249</td> <td style="text-align: right;">231</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">総費用</td> <td style="text-align: right;">2,204</td> <td style="text-align: right;">2,483</td> <td style="text-align: right;">1,415</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">費用便益比 (B/C)</td> <td style="text-align: right;">22.5</td> <td style="text-align: right;">36.3</td> <td style="text-align: right;">63.7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 便益(B)・費用(C)は、算出した各年次の値を割引率を用いて現在価値に換算した合計額</p>			区分	主な項目	前回 (基準年：H28)	今回(再々評価) (基準年：R3)		備考	全体事業	全体事業	残事業	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	17,429	31,856	31,856		②農作物被害軽減便益	3	3	3		③公共土木施設等被害軽減便益	32,157	58,296	58,296		④その他の便益	12	12	13		総便益		49,601	90,167	90,168		費用 (C)	①事業費	1,976	2,234	1,184		②維持管理費	228	249	231		総費用	2,204	2,483	1,415		費用便益比 (B/C)		22.5	36.3	63.7		大項目 評価 A ・ B ・ C
	区分	主な項目	前回 (基準年：H28)	今回(再々評価) (基準年：R3)		備考																																																											
			全体事業	全体事業	残事業																																																												
	便益 (B)	①一般資産被害軽減便益	17,429	31,856	31,856																																																												
②農作物被害軽減便益		3	3	3																																																													
③公共土木施設等被害軽減便益		32,157	58,296	58,296																																																													
④その他の便益		12	12	13																																																													
総便益		49,601	90,167	90,168																																																													
費用 (C)	①事業費	1,976	2,234	1,184																																																													
	②維持管理費	228	249	231																																																													
	総費用	2,204	2,483	1,415																																																													
費用便益比 (B/C)		22.5	36.3	63.7																																																													
(3) 事業の進捗	事業の進捗と 今後の見通し	<p>事業延長1,400mのうち、架替が必要となる^{ことかがねし}琴川橋の新設と、河口付近の左岸約50m、右岸250mの防潮堤整備が完了し、高潮に対する防護機能が向上している。 今後も計画的な事業進捗が見込まれることから、防潮堤工や橋梁工を引き続き実施し、高潮被害の軽減に努める。</p> <p>【事業費の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p> <p>【事業期間の変化】 有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/></p>	大項目 評価 A ・ B ・ C																																																														
(4) 代替案等の可能性	コスト縮減	発生土砂の処分にあたり、周辺の公共事業と調整して可能な限り流用することによりコスト縮減を図る。	中項目 評価 a b	大項目 評価 A																																																													
	代替案	代替案として「水門+排水機場案」が考えられるが、経済性等の観点から、現計画の「防潮堤整備案」が妥当である。	中項目 評価 a b	B ・ C																																																													
3 環境	配慮事項	<ul style="list-style-type: none"> ・低騒音・低振動の建設機械を使用する。 ・河川内工事の際に、汚濁防止膜等を設置する。 ・被覆石等を設置することにより、動植物の生息・生育環境に配慮する。 																																																															
4 対応方針	総合評価	● 継続 ○ 見直し継続 ○ 中止																																																															
	評価理由	事業の必要性、費用対効果等を勘案し、事業継続が妥当と判断する。																																																															
	備考																																																																

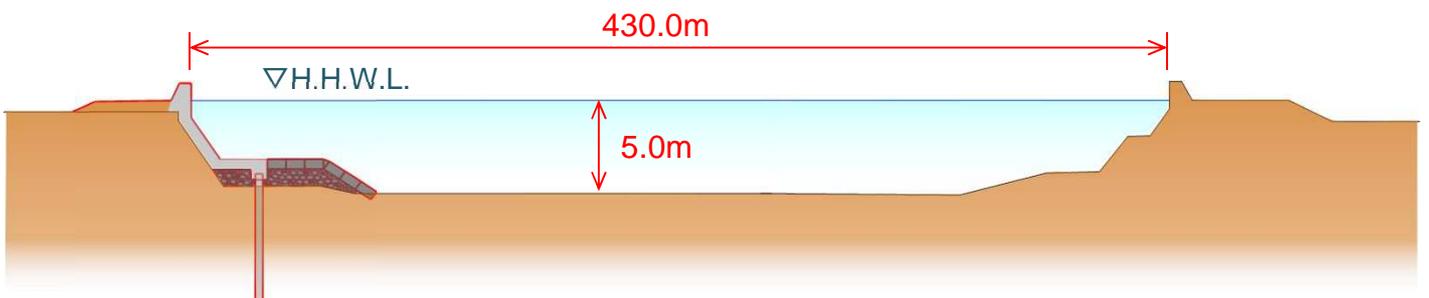
こうがわ 厚東川 周防高潮対策事業



過去の被災状況 (H11. 9) 琴川橋付近



標準断面図 (事業区間① 宇部湾岸道路下流付近)



この地図は、国土地理院の地理院地図(電子国土Web)の一部を掲載したものである。